

鴛泊村・鬼脇村における電信電話の歴史

西暦	和暦	☒ 電信（電報）				☎ 電話				出典	備考
1896	明治29	1月27日、海底電線敷設請願を貴族院で可決。								小樽新聞 利尻町史	
1899	明治32	8～9月、抜海石崎間に海底電線架設工事。12月、鬼脇郵便局で電報取扱いを開始。								北海道毎日新聞 小樽新聞	
1900	明治33	1月、鴛泊郵便局で電報取扱いを開始。								利尻富士町史 利尻町史	
1912	明治45					1月、鴛泊・鬼脇郵便局で電話通話業務を開始。				利尻富士町史	窓口電話
		鴛泊村		鬼脇村		鴛泊村		鬼脇村			
		送信数	受信数	送信数	受信数	送信数	受信数	送信数	受信数		
1918	大正7	16583	17380			1222	1261			大正8年鴛泊村勢一班	
1921	大正10			19518	19785			1406	1319	大正11年鬼脇村勢一班	
1925	大正14	23669	24306			6631	2676			大正15年鴛泊村勢一班	
1926	昭和元	23010	22752			7364	4753			昭和2年鴛泊村勢一班	
1927	昭和2	23010	22752	18819	18219	7364	4753	5524	4435	昭和3年鴛泊村勢要覧・鬼脇村勢要覧	鴛泊村の数値は前年踏襲か
						12月、鴛泊・鬼脇郵便局で電話交換業務を開始。				利尻富士町史	
1929	昭和4			15378	15279			1053	220	昭和5年鬼脇村勢要覧	
1930	昭和5					6月11日、石崎とオネトマナイ間に電話用4心入り海底ケーブルが敷設。6月16日より稚内鴛泊電話線として開通。札幌・小樽・函館・帯広方面との通話が可能となる。				北海道の電信電話史	
1932	昭和7	14300	15356	9913	10731	384137	380358	12946	8898	昭和8年鴛泊村勢一班・鬼脇村勢要覧	沓形村（電報：送信14252、受信13928）
1934	昭和9			8080	9195			*47	—	昭和10年鬼脇村勢要覧	* 村内施設電話（加入数？）
1935	昭和10	未記載				未記載				昭和11年鴛泊村勢一班	
1936	昭和11	14300	15356			384137	380358			昭和12年鴛泊村勢一班	鴛泊村の数値は昭和7年踏襲か
1950	昭和25	電気通信省が稚内坂の下と鴛泊間（40km）に、敷設船釣島丸によって4心入海底線を敷設。これにより、石崎・オネトマナイ間の既設線は回収し、4心入1条のみ再使用敷設となる。稚内との海底線は、電信・電話各3回線（4心入1条・2心入2条）から電信4回線、電話3回線に改められる。								利尻富士町史	